

たかひと

9月

2018年242号

ものがたい



■ 今月の展示コーナー

20年分の芥川賞・直木賞

(エントランス展示) P.2

認知症と向き合う (階段下の展示) P.3

■ 9月のこんなこと

ミニギャラリー (2階ホールわき) P.4

■ 新聞書評に載った本・新刊案内 P.5

■ 図書館からのお知らせ P.6・P.7

■ 高井戸図書館カレンダー P.8

20年分の芥川賞・直木賞

新進作家による純文学作品に贈られる芥川賞、エンターテインメント作品に贈られる直木賞は、年2回の発表のたびに大きな話題となり、時代を象徴するヒット作が誕生するのも珍しいことではありません。今回の展示では、高井戸図書館が開館した1998年以降の受賞作を集めました。受賞当時は予約が殺到して読むのを諦めてしまった方も、この機会にぜひ読んでみませんか？

『蛸ノ記』 葉室麟／著 祥伝社（文庫）



昨年12月に惜しまれつつ亡くなった葉室麟さんの第146回直木賞受賞作。改めて読み返してみると、迫りつつある死と真正面から向き合い、身命を賭して自分の信念を貫いた主人公・戸田秋谷の生き方は、病名を公表することなく最期まで執筆をつづけた葉室さんのそれと重なって見えてしまいます。

『沖で待つ』 絲山秋子／著 文藝春秋（文庫）



「純文学は敷居が高くて」と敬遠されがちですが、芥川賞は短編・中編から選ばれるので、意外にとつきやすいもの。第134回芥川賞を受賞した本作は、恋愛とも友情とも違う、異性の「同期」との関係性を、切なく、ユーモラスに描いています。自分の新入社員時代を思い出し、なんだかほろ苦い気持ちになりました。

『長崎ぶらぶら節』 なかにし礼／著 文藝春秋



第122回直木賞のなかにし礼さんは、作詞家から転身して2作目の小説が受賞となり話題になりました。本作は愛八という実在の芸者の美しくも哀しい生涯を描いたものですが、長崎の忘れられた歌を探して歩く場面などは、さすがに長く言葉を生業としてきた著者の面目躍如たるものがあります。

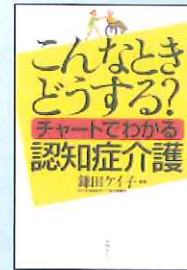
認知症と向き合う

日本の高齢化率、(総人口のうち65歳以上の割合)は27.7%です。この数値は年々更新されていくと予想されています。それに伴いどうしても避けられない認知症への懸念。最期の時までよりよい生活を送るにはどうしたらいいのでしょうか？そして、その時家族は？今回は認知症の介護やサポート、予防などの資料をいろいろ集めてみました。参考にできれば幸いです。

『こんなとき、どうする？チャートでわかる認知症介護』

鎌田 ケイ子／編著 世界文化社

突然、身内が認知症になってしまった場合の症状別対処方、介護方法、危険行為の対処方法が解りやすく、紹介されています。

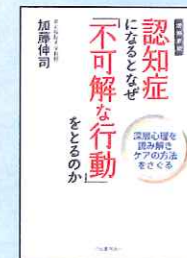


『認知症になるとなぜ「不可解な行動」をとるのか』

— 深層心理を読み解きケアの方法をさぐる —

加藤 伸司／著 河出書房新社

認知症のよりよいケアができるように起こりがちな症状をケース別に解説しています。



9月のこんなこと

9月と言えばお月見、「中秋の名月」を鑑賞する風習がありますね、中秋の名月は15日と思いがちですが、その年によって日にちが違います。新月から数えて15日周期で満月になりますが太陰太陽暦では新月の日が1日目とされています。

今年は9月10日新月です。よって今年は9月24日が中秋の名月だそうです。スーパーではよく月見団子を見かけるのですが、最近はずっくり月など見ている人など少ないのではないのでしょうか？こんなスピーディな時代だからこそ、ゆっくりと月を見て過ごすのもたまにはいいかもしれません。月にちなんで「月光」(ベートーベン作曲)、「月の光」(ドビュッシー作曲)

またP5で紹介させて戴いたフジコ・ヘミングさんの「ラ・カンパネラ」(リスト作曲)を聴きながら月見というのはいかがでしょう？

上記のCDはいずれも杉並区に所蔵がございます。

ちなみに、「月の光」(ドビュッシー作曲)は高井戸図書館閉館前に流れている曲です。

ミニギャラリー

(2階のホールわき)

『世界に友だちできちゃった写真展』

福山 美紀

高井戸図書館ミニギャラリーは地域住民の趣味、特技、生涯学習で学んだ事柄の発表の場です。人の輪を広げ、図書館が交流スペースになることを目的としています。随時募集をしているので、お気軽にスタッフまでお声がけください。

新聞書評に載った本



貸出中の場合は、予約をすることができます。

カウンターへお気軽にお申し付けください。



『フジコ・ヘミング 14歳の夏休み絵日記』

フジコ・ヘミング/著 喜しの手帖社

■情感豊かに独特のメロディーを醸し出すフジコ・ヘミングのピアノ。14歳の夏休み、戦後の混沌とした時に綴られた絵日記には日々の生活の事と少女の夢いっぱいイラストが描かれています。彼女の魅力の一片を垣間見るような絵日記です。

新刊案内

ほぼ毎週、火曜日と金曜日に新刊が入ってきます。

こちらも貸出中の場合は、ご予約ください。



『47都道府県・国宝/重要文化財百科』

森本和男/著 丸善出版

■本書は、国宝/重要文化財の所蔵場所や特色などが、都道府県別に記されています。現在、国宝/重要文化財は、観光資源としても重要視されており、海外からも観光客が訪れています。現地で実物を見て、雰囲気を感じてみませんか。



『ことばが消えたワケ』

- 時代を読み解く俗語の世界 - 米川明彦/著 朝倉書店

■ことばが生まれた理由もさまざまなら、消えるのもさまざまな理由があるようです。流行語、若者ことば、隠語などの俗語を中心に、ことばが消えていった理由を時代背景など踏まえて解き明かしています。

図書館からのお知らせ

- イベントのお申し込みは、お電話かカウンターで受付けています。
- 明記していない場合、会場は2階のホール。開場は開始時間の30分前です。
- 詳しくは、館内ポスター・図書館ホームページで確認できます。



高井戸図書館映画会

ちいさなひとのえいがかっこう



映画で世界一周！フランス編

『くまのアーネストおじさんとセレスティーヌ』

日時 9月15日(土) 午後2時～4時10分

対象 中学生以下の児童とその保護者

申込み 9月4日(火)よりカウンターまたは電話にて申込み

定員 45名(先着)

大人のおりがみ教室

『月夜のためき』

日時 9月23日(日) 午後2時～3時30分

講師 山本 愛子さん

対象 大人 材料費 300円

持ち物 細かい所が切れるハサミ・ピンセット

申込み 9月15日(土)から17日(月)まで、電話又はカウンターにて受付。

※当選発表は18日(火)からお電話にてお知らせします。

定員 20名(抽選)

9月 DVD 上映会

「杉並ゆかりの文化人」 未来へ伝えるメッセージ

クラシックギター奏者 荘村清志 「想いを奏でる」

日時 9月29日(土) 午後2時～3時頃まで
(開場は開演の30分前)

短編:「想いを奏でる」15分 長編:「語る」44分を上映します。

場所: 高井戸図書館2階 多目的ホール
先着: 40名 事前申込はありません。
当日高井戸図書館までお越しください。



独特の情感に満ちた音色で、多くの人の心を捉える荘村さん。およそ半世紀、

日本のクラシックギター界をリードしてきました。

10月 DVD 上映会予告

「杉並ゆかりの文化人」 未来へ伝えるメッセージ

ジャズピアニスト 山下洋輔 「自分の音を買いて」

開催日: 10月20日(土)

開催時間: 午後2時より(開場午後1時30分) 午後3時頃まで

短編:「自分の音を買いて」15分 長編:「語る」44分を上映します。

場所: 高井戸図書館2階 多目的ホール
先着: 40名 事前申込はありません。
当日高井戸図書館までお越しください。

高井戸図書館カレンダー

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1 ♠
2	3	4	5 ♥♠	6	7	8
9	10	11	12 ♥♠	13	14	15 ★♠
16	17	18	19 ♥♠	20	21	22
23 ★	24	25	26 ♥♠	27	28	29 ★♠
30	9月3日・20日は休館日です					

■ 開館時間

月曜～土曜 午前9時～午後8時
日曜・祝日 午前9時～午後5時

■ 休館日

第1月曜と第3木曜
※祝日と重なった時は翌日が休館

■ 催し物

♠ おはなし会 午後3時30分～午後4時

♥ あかちゃんおはなし会
午前11時～午前11時30分

★ イベント (詳細は中をご覧ください)

■ 2階ホールの使用状況

閉室

【臨時閲覧席】

(どなたでもご利用できます)

午前9時～午後5時

午前9時～午後8時

午後1時～午後5時

午後1時～午後8時

【YA広場】(中学生専用の部屋です)

放課後～午後7時

たかいど ものがたり

2018年9月 第242号

発行 杉並区立高井戸図書館

〒168-0072 杉並区高井戸東 1-28-1

電話番号 03-3290-3456

ホームページ パソコン版

<http://www.library.city.suginami.tokyo.jp/>

携帯版

<http://www.library.city.suginami.tokyo.jp/m/>